

コース・ディスカッション

※写真はすべて平成22年度事業のものです

最後のセッションで持続可能な地球社会のウェブを作る
(持続可能な地球社会コース)各グループで効果的な異文化コミュニケーションにおける鍵について
ポスターを作成し、それを全体に発表する(異文化理解コース)

ユース・カフェのプレゼンテーション(青少年育成コース)

「自分たちが住みたい世界」というテーマでコース・ディスカッションの
サマリー・フォーラムが開催され、全体でワークショップを実施

ボランTV企画で自らの経験を発表する日本参加青年(ボランティアコース)

「世界青年の船」事業 各コース・ディスカッションの概要

(参考 平成23年度事業より一部抜粋)

教育コース

ー理想的な教師とはいかにあるべきか

- 第1回 各国の教育システムと現代生活における教育の課題
- 第2回 リーダーシップの定義(情報・メディアコースとの合同セッション)
- 第3回 学校でコミュニケーションを強化するには
- 第4回 理想的な教師の特徴
- 第5回 感情の管理とアイデンティティ
- 第6回 学びをいかに社会参画に活かして行くか
- 第7回 サマリー・フォーラムの準備

情報・メディアコース

ー21世紀のメディアと社会参画

- 第1回 情報大量消費主義入門
- 第2回 ステレオタイプと批判的思考法(異文化理解コースとの合同セッション)
- 第3回 メディアと参画/社会活動
- 第4回 青少年育成の手段としてのメディア
- 第5回 情報の管理人としての青年の役割
- 第6回 メディアを利用して、将来のためのアクションプランを作る
- 第7回 まとめ

国際関係コース

ー平和促進と社会変革のための社会情勢を理解する

- 第1回 国際関係のコンセプトと要旨
- 第2回 国際関係における価値観と考え
- 第3回 国際的な活動: 国家間の理解/戦争と紛争
- 第4回 歴史上および現在の出来事の概観
- 第5回 国際政治経済、国際経済関係
- 第6回 まとめ: 二国間交渉
- 第7回 全体の要約と振り返り

持続可能なライフスタイルコース

ー未来の世代につなげる豊かさ

- 第1回 自然界の容量と100年後の豊かさ
- 第2回 経済の仕組みと持続可能性
- 第3回 持続可能で豊かなライフスタイル
- 第4回 機会と課題
- 第5回 政治家、企業経営者、市民の行動を促す
- 第6回 学びの項目リスト作りと振り返り
- 第7回 サマリー・フォーラムの準備

平成23年度「世界青年の船」事業(第23回) 参加青年 佐藤 俊之(持続可能な地球社会コース)

限られた資源の中で持続可能な社会とはどのようにすれば構築していけるのかといった観点のもと、「豊かさ」とは何か、そしてそれを測る指標について議論を重ねていきました。その中で私は、持続可能な社会の構築がいかに難しいことであるかを知りました。なぜならば、幸福の条件というものはい人一人異なり、更に我々人間が環境にまったく負荷をかけずに生活していくことは不可能ではないかと思えたからです。しかし、船の上で多種多様な考えを持った人々と話していくうちに、答えを見つけることはできないかもしれないけれど、一人一人がこの地球社会の持続のためにはどうしたらよいのかを考え、たとえ小さなことでも思いついたことを実行していく、そのような積み重ねが今後の地球環境や次世代の人々に繋がるのだと思い、考え続けること、自分から行動することが大切なのだと気付くことができました。



(筆者左端)

その他の船内活動

社会活動セッション



各国の代表が自国における青年の社会活動の取組を紹介する

ナショナル・プレゼンテーション



美しい歌声と楽器の演奏で観客を魅了するバヌアツの参加青年

スポーツ&レクリエーション



風船運びゲームでチームワークが試される

国連セミナー



菊地指導官が国際連合の歴史や組織について講義をする

PYセミナー

広島と長崎の原爆についてのセミナーで原爆が投下された時の
状況の写真を見る

エキシビション



茶道クラブで学んだ作法を披露する

事後活動連携強化プログラム



既参加青年が各国で実施している事後活動組織の活動について説明する